

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 交通安全の推進

施策コード 040202

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり (安全・環境)	節 第2節 地域安全
	施策	交通安全の推進	

基本方針
 ・交通安全施設の整備や充実、市民の交通安全意識の普及や啓発を進め、ひとにやさしく誰もが安全で快適に移動できるまちをめざします。

現況と課題
 ・放置自転車の一扫を図るため、自転車利用者に対する啓発や指導を行い、駐輪場の利用の促進を図るとともに、商業施設や駅等における駐輪施設の整備を進める必要があります。
 ・交通事故による死亡者数は全国的に減少する傾向にありますが、子どもや高齢者がかかわる事故や運転マナーに起因する事故が増加しています。
 ・交通事故の撲滅に向け、警察・交通安全協会はもとより、交通指導員の活動などを充実させながら、地域と行政が一体となって取り組みを進めていく必要があります。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)
 市民

意図 (どのような状態にしたいのか)
 歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路環境を形成し、効果的な交通安全対策を実施し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止に繋がります。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	54.6						51.7
重要度 (偏差値)	53.5						50.4

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	H29決算	H30決算				
	事業費		24,135	12,616				
	フルコスト		585,510	108,332				
財源内訳	国庫支出金	千円	609,645	120,948				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		584,258	121,808				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		25,387	-860				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		1,252	-13,476				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		交通事故による年間死傷者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0		
実績値	943.0	843.0	954.0	889.0	772.0		
達成度	100.74	112.69	99.58	106.86	123.06		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この数値が減っているかを把握することで、交通の安全性が向上していることがわかります。		国・府の削減率に準じて、削減目標値を設定。 H24, H25実績を踏まえH26年度以降は950人を目標値とした。			平成30年度交通事故による死傷者数は117人の減少となった。減少は全国的な傾向であり、高齢者事故への対策など社会全体に交通安全の関心が高まっている。		

② 成果指標 2		安全運転講習会年間参加者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	480.0	480.0	480.0	480.0	480.0		
実績値	360.0	304.0	287.0	300.0	267.0		
達成度	75.0	63.33	59.79	62.5	55.63		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
春と秋の全国交通安全運動に合わせて、自動車の安全運転講習会を開催し、市民の参加が増えることで、安全運転の意識が向上していることがわかる。	平成22年度以降、毎年約2.5%ずつ増やしていき、平成30年度までに約10%増やすことを目標に設定した。H26年度以降は480人を目標値とした。	泉佐野警察署等と連携した地道な講習会開催等の啓発活動実施したが33名の減少となった。引き続き、市報等を利用して積極的な参加を呼び掛けていく。

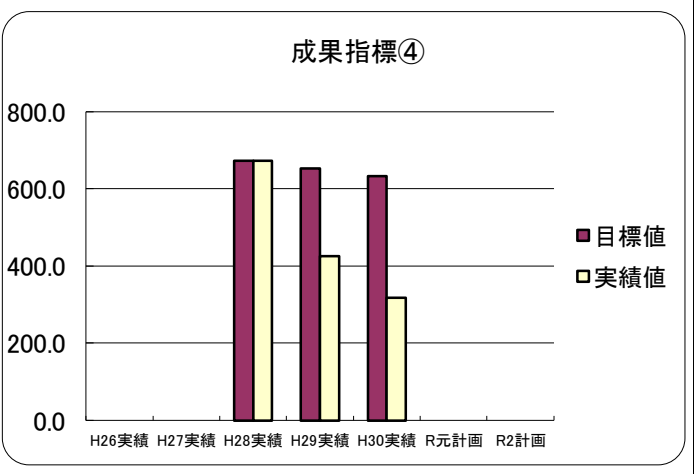
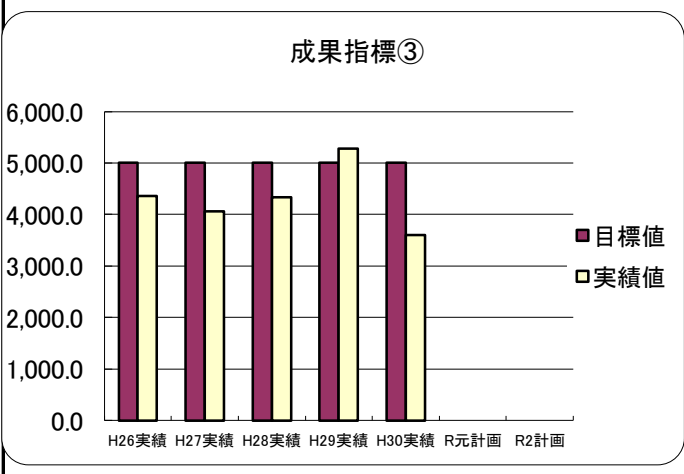
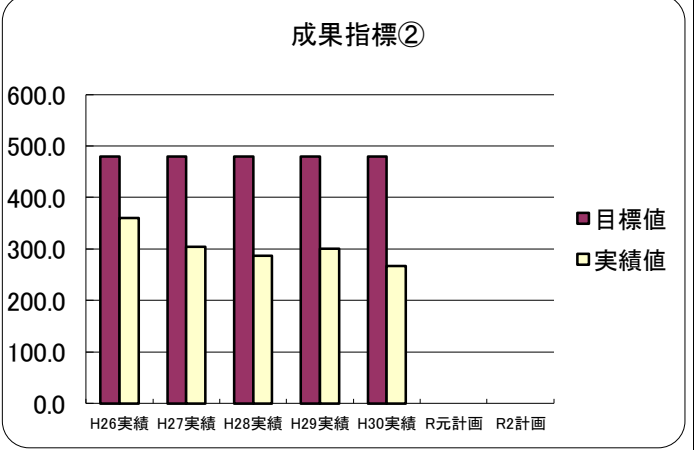
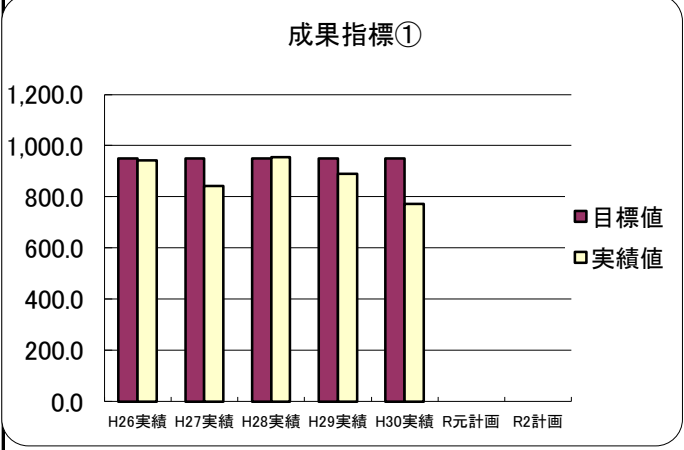
③ 成果指標 3		交通安全教室年間参加者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0		
実績値	4,361.0	4,066.0	4,332.0	5,277.0	3,603.0		
達成度	87.22	81.32	86.64	105.54	72.06		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市内の保育所、幼稚園、小学校で交通安全教室を開催し、児童の参加が増えることで交通安全の意識が向上していることがわかる。	過去3ヶ年の実績を勘案し、平成22年度以降50人ずつ増加を目標値に設定。 H24, H25実績を踏まえH26年度以降は5,000人を目標値とした。	平成30年度も全市立保育所・幼稚園・小学校での開催としたが、対象学年等が毎年一定でないため今年度は参加者数が減少した。

④ 成果指標 4		放置自転車の撤去件数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値			673.0	653.0	633.0		
実績値			673.0	425.0	318.0		
達成度			100.0	153.65	199.06		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
放置自転車の撤去件数が減少することで、安全で快適な生活環境の保持につながる。	平成28年度実績の673台を基準とし、毎年3%ずつの減少を目標とした。	放置自転車への巡回・指導啓発の効果

図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	交通事故死傷者数及び放置自転車数の減少
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	満足度が平成24年度54.6から平成30年度51.7に低下しており、引き続き施策の重要性を積極的に啓発していく必要がある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	交通事故発生件数は年々減少傾向にあります。引き続き市民への交通安全啓発を進めるとともに、泉佐野警察署、交通事故をなくす運動推進本部、交通指導員等と連携を図り、交通事故のない安全で安心して暮らしていける泉佐野市をめざしていく。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	交通事故発生件数及び死傷者数は年々減少傾向にあるが、交通事故死ゼロを目指して更なる交通安全運動の推進を行う必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、安心・安全な交通環境の充実に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き、安心・安全な交通環境の充実に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01009300	交通安全教育事業	3,264	15,811	3,337	B
2	01009400	自転車等駐車場運営事業	4,853	80,134	-24,636	B
3	01009500	放置自転車対策事業	3,970	10,469	9,734	B
4	01009650	自動車駐車場運営事業	529	1,918	-1,911	B
合計			12,616	108,332	-13,476	